

令和7年度

まちづくり懇談会実施結果報告書（石井地区）

宇都宮市総合政策部広報広聴課

令和7年度 第6回まちづくり懇談会《石井地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《石井地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 令和7年11月29日（土）午前10時00分～（1時間程度）
- 2 開催場所 石井地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 24人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，広報広聴課長
- 5 懇談内容
 - （1）地域代表あいさつ 石井地区まちづくり推進協議会 会長
 - （2）市長あいさつ・市の取組紹介

(3) 当日意見

No.	要 望	所管課
1	地域内交通について①	交通政策課
2	地域内交通について②	交通政策課
3	空き家対策について	生活安心課
4	自由なアートスペースについて	N C C 推進課 生涯学習課
5	インバウンドについて	観光M I C E 推進課
6	石井緑地について	スポーツ都市推進課
7	自転車のまち、本市の若年女性、障がい者施策について	道路建設課 L R T 管理課 都市ブランド戦略課 女性活躍推進課 住宅政策課 障がい福祉課

(4) 来賓あいさつ

市議会議員 今野 哲也 氏

(5) 市長謝辞

まちづくり懇談会（石井地区）における意見及び回答の要旨

開催日時：令和7年11月29日（土）午前10時00分～

場所：石井地域コミュニティセンター

参加者数：24名

◇当日意見

No.	意見の概要	回答の概要
1	<p>地域内交通について①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市ではLRTが開設し、石井地区ではぐるっと石井号があるなど移動手段は便利になった。一方、体の不自由な人や高齢者は、LRTの停留場まで遠く、ぐるっと石井号の停留所ではベンチがないため、立って待たなければならないなどの困りごとがあると聞いた。 ・そこで、「サポートバス停」という仕組みを提案したい。サポートバス停とは、主要なバス停にサポートボタンを設置し、ボタンが押されると、運転手や近くの乗客が乗り降りを手伝ってくれる仕組みである。 ・また、バス内にサポート可能な人が座る「サポート専用席」を設置すれば、ボタンが押されたときにすぐ助けることもできる。 ・この仕組みにより、助けてほしいを可視化することが可能になる。 <p>（所管課：交通政策課）</p>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい提案をありがとう。 ・石井地区の地域内交通は定時定路とデマンドタクシーがあるが、さらに両方がより良い公共交通となるよう工夫をしていく。 ・今回提案いただいたサポートバス停やお手伝いいただける方の専用席などは、今後の地域共生社会を目指していく上で、しっかり取り入れていくことが重要であるため、今回の御意見などを参考にしていきたい。
2	<p>地域内交通について②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるっと石井号の停留所は、時刻表などが小さくて見づらい。また、古くなっている。 ・さらに、ぐるっと石井号を利用される方は高齢者が多いた 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板が古くなっている件については、対応しなくてはならないので、運営委員会の皆様と協議をしながら行政もサポートしていく。

	<p>め、座って待てる場所があるとよいと考える。 (所管課：交通政策課)</p>	<p>・地域内交通は多くの方々に利用いただく中で、地域の実情や想いを形にして発展させていくものである。今回いただいた御意見をしっかり受け止め、地域の皆様と共により良いものとしていきたい。</p>
3	<p>空き家対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、一人暮らしの高齢者が亡くなるケースが増え、それに伴い空き家が増えてきている。 ・夏場になると空き家の草木が伸びてしまい、自治会として対応に困っている状況がある。 ・空き家問題について、自治会としてどのように対応すれば良いか悩んでいる。 <p>(所管課：生活安心課)</p>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、管理不全な空き家が発生しないよう、空き家の現状を把握するため、実態調査を進めている。 ・また、75歳以上の持ち家を所有している方等を対象に、啓発活動や意識調査を行う取り組みも実施している。 ・さらに、不動産関係者やNPO団体、大学などと連携して空き家会議を組織し、空き家問題の解消に取り組んでいる。 ・空き家となっている場所や、今後空き家になりそうな場所など具体的なものがあれば、ぜひ情報を提供いただきたい。 <p>※懇談会後には、担当者が発言者に空き家の具体的な場所を確認した。</p> <p>○所管課による後日対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者から、最近亡くなった居住者の住宅を地域の集会所として活用したい意向をヒアリングした。 ・生活安心課で相続人の調査を進めており、相続人が判明後に活用意向の確認や相談者への取り次ぎを行う予定であることを伝えた。
4	<p>自由なアートスペースについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市は子どもたちが楽しく遊べる施設が多くあり、スポーツイベントも盛んである。 ・一方、私は絵を描くことが好きなのだが、そのような活動ができる文化施設が少ないと感じる。 ・子どもたちが（図工室のように画材を広げたりできる）自 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が集う場所としては、まず二荒山神社に「二荒テラス」がある。ここでは学生たちが勉強したり、打合せなどグループ活動を行うスペースがある。また、イエローフィッシュがあり、そのような場所で対応できるのか検討させていただく。 ・また、まち中以外にも中央、東、南図書館にグループ学習

	<p>由に絵を描く施設を望む。 (所管課：NCC推進課，生涯学習課)</p>	<p>室などがあるが，このような子どもたちが自由に使える場所の提供を増やしていきたい。</p>
5	<p>インバウンドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市周辺を訪問する外国人観光客の多くが宇都宮市を通過してしまう現状がある。宇都宮市に訪日外国人観光客を呼び込み，宿泊や観光を楽しんでいただき，地域での消費活動を促進する取り組みが必要だと思う。 ・人口減少に伴って税収の減少が懸念される中，観光による収入の増加は貴重な財源となる。 ・市として，インバウンド政策を推進し，観光を軸にしたまちづくりを進めていただきたい。 (所管課：観光MICE推進課) 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の方々に宇都宮市を訪れていただくためには，具体的な戦略が必要である。本市では，大谷地域を観光地としてさらに魅力的な場所に磨き上げていく取組を進めている。 ・大谷地域では，市と民間が協力してお店や施設の誘致を行っている。12月には新しい施設がプレオープン予定であり，レストランを併設し，海外でも高い評価を受けているアーティストの作品が楽しめる展示スペースも設ける予定である。 ・また，本市では日光市と連携し，地域の観光資源を活用した「ファムツアー」を実施している。今年で2回目の開催となり，今後とも更に充実した内容で継続的に取り組んでいきたいと考えている。 ・加えて，本市ではインバウンドだけでなく，MICE誘致事業にも力を入れ，多くの観光客やビジネスマンなどが訪れる環境を整えることで，地域の活性化を図っていく。
6	<p>石井緑地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井緑地にはサッカー場が6面あるが，砂埃がひどいので，何か対策をしてほしい。 ・設置されているトイレは仮設トイレであり衛生的によくないため，建屋のような常設のトイレを設置してほしい。 ・サッカーと野球の試合が同時に行われる日は車の渋滞がひどいため，一周まわられるようにするなどの対策をお願いしたい。 (所管課：スポーツ都市推進課) 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂埃については，水を撒く対策が必要になると思われるため，散水車などが手配できるかどうか検討したい。 ・河川敷には制限があり，トイレのほかバックネットやサッカーゴールなども含め，大雨洪水警報発令時などに河川状況に応じて撤去できるようにしなければならないため，トイレについては仮設式になってしまう。 ・常設のトイレを作っていくことは難しいが，施設管理者において，施設の利用状況に合わせて，適宜，清掃を行ってい

		<p>るので、引き続き衛生的な環境維持に努めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の導線については、色々な所に出入口を作れば便利になると考えられるが、河川敷は国の管理となり制限があるので、できるところからやっていきたい。
7	<p>自転車のまち、本市の若年女性、障がい者施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市は自転車のまちをアピールしているので、道路整備などを進めていただきたい。 ・宇都宮市では若年層女性の比率が男性に比べて少ない状況が見られる。この理由や、それに対する具体的な対策について伺いたい。 ・障がいのある方々に対して、市ではどんな施策を実施しているのか。 <p>(所管課：道路建設課，L R T管理課，都市ブランド戦略課，女性活躍推進課，住宅政策課，障がい福祉課)</p>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、自転車のまちとして、自転車通行空間の整備を進めている。走行の安全性と快適性を目的として、矢羽根等を整備している。まだ整備が必要な道路はあるが、引き続き道路整備を進めていきたい。 ・また、L R Tに自転車を持ち込めることを検討している。朝夕の通勤時間帯は難しいかもしれないが、車両への自転車の持込みについて、ライトレール株式会社と検討を行っている。 ・本市の若年女性は進学を機に東京圏に進学し、そのまま就職して帰ってこない傾向がある。そのため、男女比で女性の比率が低いと、その対策として東京圏の女性との結婚のマッチングツアーを行っている。 ・また、女性が働きやすい環境を整えるために、職場環境改善の補助金を設けている。さらに、女性がアパートを借りる際の補助金も設けている。 ・障がいのある方々への施策としては、移動手段の確保としてタクシー券の年間配布を行っている。健常な方々とできる限り同様に移動できる環境を作るとともに、現在は「親なき後」の福祉施策に最も力を入れている。